

地場企業の経営動向調査(平成11年度第1・四半期)

◎調査要領など

- ・調査目的 福岡市内地場企業（一部福岡市近郊を含む）の景況及び経営動向を把握すると同時に、これらの情報を企業側へ提供し、参考に資することを目的とする。
- ・調査対象 従業員が10人以上の当所会員企業1,378社。
回収数は757社（回収率：54.9%）
- ・調査要領 各調査項目につき前年同期と比較した状況などの回答を求めるもので、今回は平成11年4～6月期の実績、及び平成11年7～9月期の予測について6月末時点で調査。
- ・調査結果 今期(平成11年4～6月期)の地場企業の景況判断指数(DI=前年同期と比べ「良くなった」とする回答割合から「悪くなった」とする回答割合を引いた数値)の全業種平均は、マイナス42.1となり、前期比2.5ポイントの改善となった。景況感はやや回復の兆しが見え始めているものの、水準は依然厳しいものとなっている。

業種別では、小売業でのDIのマイナス幅拡大（前期マイナス18.9→今期マイナス36.5）が目立つほか、建設業（同マイナス44.6→同マイナス46.2）がわずかにマイナス幅拡大したが、製造業（同マイナス46.2→同マイナス39.5）、卸売業（同マイナス46.6→同マイナス39.0）、運輸・倉庫業（同マイナス68.6→同マイナス58.6）、サービス業（同マイナス44.2→同マイナス42.8）ではマイナス幅が縮小し、やや改善された。

項目別では「生産額、売上高、完成工事高」が「減った」と回答した企業の割合がほぼ半数（48.6%）であり、また、経営上の問題点では「売上、生産額、工事高の停滞」の指摘割合が最も高く（68.2%）なり、「受注、販売競争の激化」を抜いて（67.9%）、企業間の価格競争の厳しさが売上にも影響を及ぼす結果となっている。

次期(平成11年7～9月期)の自社景況予測DIについては、全業種平均マイナス30.0で、今期比12.1ポイントの縮小となり、先行き改善の見通しとなっている。

詳しい報告書は経済部経済調査グループでお渡ししております。

地場企業の経営動向調査(平成11年度第1・四半期)

※前年同期比 (%)

動向 業種	平成11年4－6月期実績							平成11年7－9月期予測						
	非常に良くなった	やや良くなった	横ばい	やや悪くなった	非常に悪くなった	未記入	DI	非常に良くなる	やや良くなる	横ばい	やや悪くなる	非常に悪くなる	未記入	DI
全業種	0.4	13.7	29.2	40.3	15.9	0.5	▲ 42.1	0.4	15.3	36.5	37.0	8.7	2.1	▲ 30.0
建設業	-	8.5	35.9	37.6	17.1	0.9	▲ 46.2	0.9	9.4	38.5	36.8	13.7	0.9	▲ 40.2
製造業	0.6	14.1	30.5	39.5	14.7	0.6	▲ 39.5	0.6	19.8	35.6	34.5	7.3	2.3	▲ 21.4
卸売業	0.5	16.2	26.7	41.4	14.3	1.0	▲ 39.0	-	18.1	38.6	36.2	5.2	1.9	▲ 23.3
小売業	1.2	17.6	25.9	42.4	12.9	-	▲ 36.5	1.2	16.5	36.5	36.5	8.2	1.2	▲ 27.0
運輸 倉庫業	-	8.6	24.1	44.8	22.4	-	▲ 58.6	-	6.9	24.1	48.3	17.2	3.4	▲ 58.6
サービス業	-	13.6	30.0	38.2	18.2	-	▲ 42.8	-	12.7	38.2	37.3	8.2	3.6	▲ 32.8

中小企業	0.5	12.1	27.9	41.2	17.6	0.6	▲ 46.2	0.5	14.1	34.7	38.6	10.0	2.1	▲ 34.0
大企業・ 中堅企業	-	21.0	34.8	36.2	8.0	-	▲ 23.2	-	21.0	44.2	29.7	2.9	2.2	▲ 11.6

[戻る](#)